

プログラム名：地域社会における危機管理システム改革

(各種感染症への対応)

応募番号：0201

提案プロジェクト名：鳥インフルエンザ防疫システムの構築

研究代表者名：西藤 岳彦

中核機関名：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

コメント

本提案は、県境や専門等に縛られない迅速かつ高精度な鳥インフルエンザ防疫監視体制を確立すること、そのための危機管理情報共有システムを構築するものとして評価できる。また、プロジェクト実施に必要な知識、ノウハウがあり、既に十分な業績を挙げている研究者や参画機関等により適切な実施体制が組み立てられていることも評価できる。野鳥における鳥インフルエンザの感染リスクを評価する上で必須となる野鳥の感染実験施設を既に整備するなど、取組遂行上必要な施設面の整備も十分であり、基礎研究の成果も併せて期待できる。

広域監視・警報システムを構築し、地方自治体の迅速かつ的確な防疫を実現するため、国内外の野鳥の飛来に関する情報収集、感染リスク警報システム及び初動対応者への情報伝達方法の確立などについて、今後、実施計画をより具体化させて着実に遂行することを期待する。